

学習プログラム 4年「国語」5/25～

「事実にもとづいて書かれた本を読もう」

<保護者の皆さんへ>

今まで、教科書では物語文や説明文について学習してきました。今回の学習では、ノンフィクション（ルポルタージュ）を読むことで、読書に親しむための幅を広げていきます。また、本が必要な知識や情報を得ることに役立つことや、同じ作品でも、人によって感じ方が違うことに気付く学習をしていきます。

本の良さを伝える方法として、読書感想文や帯、POP、ビブリオバトルなどがあげられます。今回は、自分の伝えたいことを「言葉を工夫して短くまとめる」練習をしていきます。

今回の勉強では、みなさんにポップを作ってもらおうと思います。それでは、勉強を始めましょう。

5 / 2 5

じょうず ポップ か 上手なPOPを書くために……



はじめに

「POP」というのは、本の魅力（良^{みりよく}さ）を伝えるためのものじゃ。

本屋さんによく飾ってあるじゃろう。本の良さをみんなに知ってもらうためのものじゃ。

「何」に「どう」心を動かされたのかを短い言葉に思いをこめて伝えるものじゃ。

ここからわが、上手なPOPを作るための方法を伝授するぞ。

今回は107ページの「ランドセルは海をこえて」で、練習するぞよ。



ひとつ…教科書の107ページの「ランドセルは海をこえて」を読んでみるのじゃ。

その時に、おどろいたことやすごいと思ったこと、みんなにも知って欲しいことなど
文章の右側に線（サイドライン）をひいておくのじゃ。



ふたつ…この作品の筆者である内堀さんは、写真家なのじゃ。

写真に印をつけてもよいぞ。

5 / 2 6 ~ 2 7

みつつ…心に残った所のメモをノートに書くのじゃ。

むずかく考えず、たくさん書くことがポイントじゃ。

例えば、ランドセルをもらった子供たちがみんなうれしそう。など、

箇条書き（1行くらいで短く）で書くのじゃ。



よつつ…一番大切なキャッチコピーを考えるぞ。

心に残った順に①～③位を決め、ノートに書くのじゃ。

自分が考えた言葉でも、心に残った文章をそのまま書いてもいいぞ。

①～③位を組み合わせても、よいものができるぞよ。ここまでで準備は終了じゃ。

①
五月十八日 ランドセルは海をこえて
心に残ったこと
・ランドセルをもらった子供がみんなうれしそう。
・ランドセルは、つくえの代わりにもなっていてびっくりした

5 / 28 ~ 29



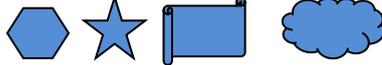
いつつ...いよいよPOPを作るぞ。

材料は 画用紙 えんぴつ 名前ペン 色えんぴつ(2~3色) はさみ じゃ。
書く内容は キャッチコピー 本の内容(あらすじ) 本の題名(書名) 作者(筆者)
の4つは必ず書くのじゃ。そのほかに絵を描いてもいいぞよ。

まずは、下書きじゃ。えんぴつでうすく書くぞ。あとで色えんぴつやペンでなぞるからな。



紙の形を考えるニヤ。



1行くらいで大きくニヤ。

文字を正確してもおもしろいニヤ。



キャッチコピーは大きく書く

本の題名 作者

あらすじ

3~4行くらいで書くニヤ。

ノートのメモを使うと楽にニヤ。



ここからが本番

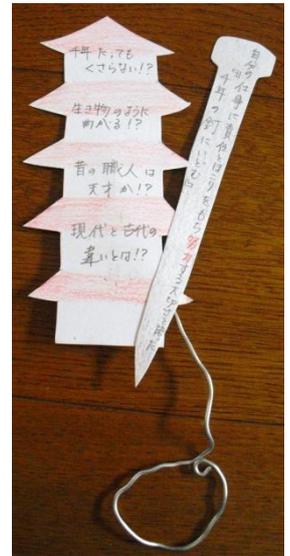
- ①文字をペンや色えんぴつでなぞるニヤ。
- ②絵をかいたり、色をぬったりするニヤ。
- ③はさみで形に切るニヤ。

※さきに切ると、やぶれてしまうときがあるから

- ④うらに自分の名前を書くニヤ。

これで完成!!!

立つように、おうちにあるものを使って工夫してもいいニヤ。



参考例



上手にPOPはできたかのう。これで、POP作りは終了じゃ。

色々な本で作ってみるのじゃ。さすれば、達人になれるじやろう。

やす つづ とき ほん よ つく かだい で つく かつ
お休みが続いた時は、おうちにある本を読んで、POPを作ろうという課題が出るので、作り方をしっかり
おぼ 覚えておいてくださいね。

また、たいせつ お みじか ちから おとな はたら つか、たいせつ ちから
また、大切なことを落とさず、短くまとめる力は、大人になって、働くようになって使う大切な力です。